

2019年度知の森基金を活用した短期海外活動支援プログラム 応募プログラム一覧

No.	学部	プログラム名/概要 (プログラム名をクリックすると、「実施状況及び成果」が表示されます)	プログラム実施概要			研修先	参加 学生数	支援 学生数	知の森支援 額 (一人当た)		知の森 支援総額	
			出国	帰国	現地活動 期間(日間)				千円	千円	千円	千円
1	人文学部	オックスフォード・パーススパ大学における人文学短期研修プログラム										
		人文学部所属の学生にグローバル時代の人文学の意義を伝え、その実践を体験させることを目的として、オックスフォード大学、パーススパ大学にて実施される。研修の中心は少人数のゼミナールであるが、関連施設(図書館や博物館等)におけるフィールド学習も含まれる。また、参加学生には最終日に、自らの研究成果を英語でプレゼンテーションすることが課せられる。	2019/8/26	2019/9/9	13	イギリス	27	26	70	千円	1,820	千円
2	人文学部	レーゲンスブルク大学・デュッセルドルフ大学現代ドイツ研修プログラム										
		金沢大学と合同で行い、ドイツ・レーゲンスブルク大学及びデュッセルドルフ大学に本学学生を派遣し、現代ドイツの諸問題に関するセミナー研修およびドイツ語研修を通じて、ドイツ語能力向上、現代ドイツに対する知見の深化、海外生活、海外における学習経験による人間力の涵養を目指すものである。8月後半から4週間にわたって実施され、3週間の語学研修を中心としたピリオドと現代ドイツに関するセミナー研修についてのレポート及び成果発表、事前学習への取り組みなどを総合して評価を行う。	2019/8/23	2019/9/20	24	ドイツ	7	2	70	千円	140	千円
3	人文学部	中国の言葉と文化を実体験する河北の大学訪問研修旅行										
		本学協定校である河北医科大学の留学生教育組織の協力を得て、ネイティブによる完全に中国語だけを用了中国語授業を行い、様々な文化体験活動を通じて、中国文化に対する理解を深め、河北省博物館や隆興寺など石家庄市を代表する名所を見学し、河北省ひいては中国北方の歴史に対する理解を深め、北京の天安門、故宮博物館、前門、王府井などの見学を通じて、中国北京の過去と現在を概観し理解を深める。	2019/8/23	2019/9/1	9	中国	3	2	50	千円	100	千円
4	教育学部	児童生徒の創造的思考力を育むクリエイティブ・ラーニングの米国視察研修										
		クリエイティブ・ラーニングについて先駆的な教育研究・実践を行っている米国の教育現場を視察し、日本の学校教育に求められるSTEAM教育のあり方について見聞を広める。プログラミング言語「スクラッチ」を開発したMITメディアラボやそれを活用した学びの場を提供する教育施設、コンピュータ科学や芸術分野の研究機関などを訪問し、STEAM教育に係る人々の思想や理念などをインタビューし、学生が日本で行っている教育実践を紹介することを通じて、語学力の向上を図るとともに、学校教育に対しグローバルな視点に立った考察ができるようになる。	2019/9/22	2019/9/27	3	アメリカ	3	3	70	千円	210	千円
5	教育学部	グローバル人材育成のためのスウェーデン学校臨床実習										
		グローバル教育を積極的に推進するスウェーデンの学校等を訪問し、授業参観や職場体験を経験することによって、グローバルな視野で学校教育に貢献できる人材を育成することを目的としている。複数の学校を訪問し、現地教員のシャドウイングを行う。また、学校訪問後にはリフレクションの時間を設け、学習の深堀りや成果のまとめを行う。	2019/11/16	2019/11/24	7	スウェーデン	14	12	70	千円	840	千円
6	教育学部	グローバル人材育成のためのイタリア学校臨床実習										
		世界的に有名な教育実践を行うイタリア・レージョエミアの学校等を訪問し、授業参観や職場体験を経験することによって、グローバルな視野で学校教育に貢献できる人材を育成することを目的としている。複数の学校を訪問し、専門職員による研修を受講する。また、学校訪問後にはリフレクションの時間を設け、学習の深堀りや成果のまとめを行う。	2019/11/23	2019/12/1	7	イタリア	9	6	70	千円	420	千円
7	経法学部	ハワイ大学研修										
		大学間協定のあるハワイ大学(マノア)校で研修プログラムを実施し、アメリカ(ハワイ)政治経済と日米関係や多文化共生、環境問題などの地域社会の課題について学習する。主体性を育み社会科学を学ぶための英語力を向上させる。研修には、ハワイ大学学生との共同授業、信大生向けの授業、交流活動、フィールドトリップ、NGO訪問が含まれる。ハワイ大学での授業は、ディスカッションを中心とする参加型の授業である。短期海外研修の効果を高めるため、学部での事前学習を行い、研修後も継続的な学習と長期留学を奨励する。	2020/2/13	2020/2/23	8	アメリカ	8	8	70	千円	560	千円

8	医学部 医学科	クリニカルクラークシップII 選択臨床実習海外派遣プログラム												
		海外志向のある6年次前期の学生を対象に、卒前教育の最終段階にあるクリニカルクラークシップII(臨床実習II)の最終4週間を海外医療施設における実習に割り当て、学生にグローバルな臨床環境での経験を提供する。タイ及びインドネシアの施設を利用し、人種や宗教、経済的多様性に富んだ現場を経験させるとともに、そのような環境における医療者の考え方や態度、患者のニーズに触れ、卒後に国際的に活躍する上で必要となる「多様性を認識しその違いを受け入れる態度」を身に付けることを目的としている。	研修先により異なる	研修先により異なる	研修先により異なる	インドネシア タイ	5	5	60	千円	300	千円		
9	医学部 保健学科	シンガポール夏期海外単位認定プログラム												
		医学部保健学科学生が、シンガポールの保健・医療現場、教育施設を見学・体験することにより、アジア先進国の保健医療の現状を理解し、将来国際保健・医療を担うことのイメージを広げることを目的とした新規プログラムである。本プログラムは、医学部保健学科夏期海外研修プログラムの一つとして位置づけ開始したプログラムで、2019年度は、シンガポール総合病院、KK女性と小児のための病院、ブライト・ビジョン病院の臨床見学ならびにシミュレーション教育などを体験し、シンガポール工科大学を見学するプログラムとなっている。	2019/8/9	2019/8/19	8	シンガポール	18	2	70	千円	140	千円		
10	医学部 保健学科	夏期海外研修ネパール保健医療スタディツアー												
		ネパール、カトマンズ市内の保健・医療現場の見学及び日本人とネパール人により運営実施されているNGO活動(ラリトプール郡)の見学や体験から、開発途上国の保健医療の現状を理解し、将来国際保健・医療を担うことのイメージを広げる。平成22年より開始したプログラムで、当初は教員のNGOの活動フィールドに学生が同行する方法をとっていたが、平成26年度より保健学科の夏期海外研修の中に位置づけた。	2019/8/19	2019/8/25	6	ネパール	5	3	50	千円	150	千円		
11	工学部	グローバルエンジニア育成のための工学部マレーシア短期研修プログラム												
		マレーシアの協定校で専門的な講義等を体験する短期プログラム。英語での授業や大学生活を体験する「海外留学シミュレーション」を行うことで、参加者を中長期の留学に導くことを目指す。また語学力等の必要性を実感し、今後国際的に活躍できるエンジニアに成長するための課題を見つけ出し、学業の動機付けとする。マラヤ大学では本プログラム生のためにDeep Learning等入門特設授業が行われる。また様々な国からの留学生や日本語学んでいる学生との交流、企業見学、リサーチ活動も予定。	2019/9/2	2019/9/21	19	マレーシア	10	4	60	千円	240	千円		
12	工学部	アメリカPenn State & NYC グローバルリーダーシップ短期研修プログラム												
		本学の国際学術協定校であるアメリカのペンシルバニア州立大学(Penn State)のグローバルエンゲージメントとリーダーシップ経験(GELE)プログラムに参加し、同大学のアメリカ人学生と留学生と共に、グローバル社会におけるリーダーシップとは何かを議論し、発見する。さらに、ニューヨーク市の国際連合本部とアメリカ自然史博物館を訪問し、様々なグローバル問題を考え、持続可能な社会に向けて提案し、行動ができるグローバルリーダーを育成する。	2019/10/29	2019/11/7	8	アメリカ	5	2	70	千円	140	千円		
13	農学部	海外の森林・林業とフォレスタ―研修・研究プログラム												
		森林・環境共生学コース専攻2～4年生および環境構成分野専攻大学院生対象のプログラム。ドイツ南部の林業生産の中心シュヴァルツヴァルトを有するバーデンビュルテンベルク州に立地するロッテンブルク林業大学で、森林資源管理・育林体系・狩猟制度・バイオマス利用・レクリエーション利用など国内にない視点も合わせて、多岐に学ぶことで、研究や技術の進展だけでなく、グローバルマインドを持って地域で活躍するための知見を身に付ける。	2019/9/13	2019/9/25	8	ドイツ	5	0	70	千円	0	千円		
14	農学部	農業・食糧分野における国際協力で活躍出来るグローバル人材の育成												
		本学学農学部と学術交流協定を結んでいるネパール国農業省ネパール農業研究評議会の研究施設(首都カトマンズ標高1350m)と標高2650mのヒマラヤの麓の村マルファを中心に実施するプログラム。ネパールという農業生物多様性の宝庫でありながら、脆弱な食糧生産体制のもとに人々が暮らす「開発途上国」において、約2週間の研修先での活動とその経験から、このような問いに対して、自身で考え、学ぶための機会を提供し、将来、国際協力分野で活躍するグローバル人材の育成を目指す。	2019/9/9	2019/9/22	12	ネパール	6	2	50	千円	100	千円		

15	繊維学部	ファイバー工学分野の技術者・研究者育成を目指した日中韓学生研修プログラム												
		ファイバー工学分野における日本・韓国・中国の大学院生の交流の場を設け、学生達に国際的な感覚を身につけてもらい、将来、国際的に活躍できる技術者・研究者を養成することを目的とする。本プログラムは、平成19年より日本・韓国の2か国間で開始し、平成23年より中国が加わり3か国の持ち回りで毎年開催してきた実績を有する。今回は、中国で開催する。シンポジウムの公用語は英語とし、研究発表ならびに討論会を中心とし、大学教員による先端的研究の講演、繊維関連企業の見学、エンジニアによる講義、グループワーク、文化体験を実施する。	2019/9/5	2019/9/12	6	中国	8	3	50	千円	150	千円		
16	繊維学部	ファイバー工学分野の技術者・研究者育成を目指したJapan-China Textile & Composite Symposiumの参加と中国武漢紡織大学との交流												
		本学繊維学部と学術交流協定を提携した中国武漢紡織大学が、学術交流協定の一環として合同開催するJapan-China Textile & Composite symposium2019に参加し、発表し、交流を行う内容である。自身の研究や最近の研究動向に対する知識を深める。中国武漢紡織大学の学生と一緒に武漢紡織大学の交流イベントに参加し、大学の見学を行う。信州大学と共同研究を行っている中国麻繊維会社の見学と訪問も予定している。学生達に国際的な感覚を身につけてもらい、将来、国際的に活躍できる技術者・研究者を養成することを目的とする。	2019/9/11	2019/9/15	5	中国	11	8	50	千円	400	千円		
17	全学教育機構	マレーシアプトラ大学のELS語学センターにおける夏期英語集中プログラム												
		本学協定校であるマレーシアプトラ大学(以下UPM)に併設されているELS語学センターが主催する約1ヶ月間の英語研修プログラム。英語の四技能を集中的に訓練し、さらには、語学研修中に日本以外の国から来ている学生との異文化間交流を通してグローバルマインドをはぐくみ、学生が長期海外留学へ向けたモチベーションを向上させ、長期留学のベースとなる英語力およびグローバルマインドを育成することを目的とする。	2019/8/8	2019/9/9	28	マレーシア	24	16	60	千円	960	千円		
18	全学教育機構	「ドイツ環境ゼミ」：環境マインドをもったグローバル人材育成のためのドイツ視察研修プログラム												
		当プログラムは、教養科目「ドイツ環境ゼミ」の中心となるもので、本学が目指す「グローバル人材」の育成および「環境マインド」育成の両面を推進するものである。「語学学校における2週間の語学研修」と「Leibniz University Hannoverの教員および本学の卒業生の協力のもとに行われる1週間の環境関連施設等の視察・調査」からなっている。研修旅行前に事前学習を行い、語学コース参加の準備、および視察研修内容の事前調査を行うことで、各自がより深い問題意識をもって研修旅行に参加できるようにする。	2020/2/15	2020/3/9	21	ドイツ	8	8	70	千円	560	千円		
19	全学教育機構	フランス、リール大学語学・文化研修プログラム												
		本プログラムは、信州大学が目指す「グローバル人材の育成」を推進するものである。全学部の学生(1~3年生)に対して開かれたプログラムであり、本学の学術交流協定校であるリール大学で、語学・文化研修を行う。プログラム内容は、リール大学の附属語学学校における、2週間の語学・文化研修を中心に、学生交流などをを行う。帰国後は「成果報告会」を開催し、各自に学んだことについてプレゼンしてもらおう。フランス語検定3級、もしくはそれ以上の級を受験する。	2020/2/15	2020/3/1	14	フランス	9	9	70	千円	630	千円		
20	グローバル化推進センター	カリフォルニア州立大学 地域活性化の体験型学習と実践英語プログラム(基礎/応用)												
		本学協定校であるカリフォルニア州立大学チコ校と共同で企画・実施する英語学習および地域活性化をテーマとした夏3週間のプログラム。レベル別英語授業に加え、地域産業の講義、農場・企業訪問などの実地研修、さらに現地学生との交流を行い国際的な場面での発信力を鍛える。「基礎コース」ではチコ校で日本語を学ぶ学生との協業による課題発表を通じて国際感覚や英語で持論を展開できる発信力を養成。「応用コース」ではより発展的なプロジェクト型研修を行い、グローバル人材として求められる実践的スキルを養成する。	2019/8/29	2019/9/20	22	アメリカ	22	15	70	千円	1,050	千円		
21	グローバル化推進センター	グローバルインターンシップ・プログラム												
		海外の実務現場での課題に取り組むインターンシップを全学年・専攻を対象に、学生のレベルやニーズに応じて提供するものである。アジア(マレーシア、ベトナム、タイ)、北米(アメリカ)、ヨーロッパ(ドイツ、フランス)の連携関係にある協定校/機関の協力の協力を得て、周辺地域または学内/機関内の実務現場において、外国語(主に英語)を使って学生それぞれの専門知識を活かし高め得る実践的課題に取り組むことを通じて、組織のコア人材として主体的・国際的に協働していく能力、将来グローバル社会で貢献できる知識やスキルの基盤形成を図る。	派遣先により異なる	派遣先により異なる	派遣先により異なる	タイ マレーシア アメリカ フランス ドイツ ベトナム	36	10	派遣先により異なる	610	千円			
					合計	243	146		9,520	千円				